

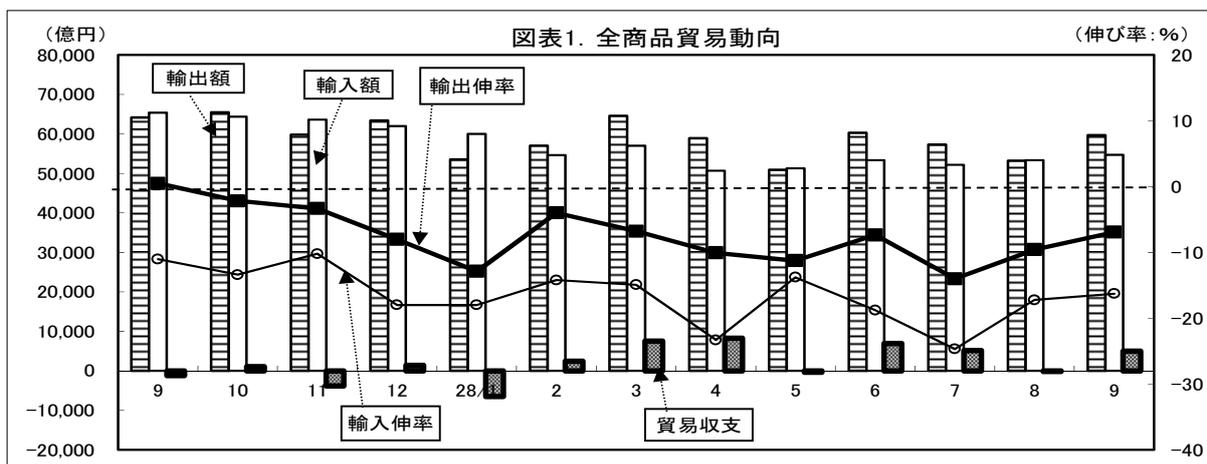
「最近の機械貿易動向(9月)～機械輸出伸び率12ヶ月連続マイナス～」

日本機械輸出組合 2016.11.17.

平成28年9月の機械輸出額は3兆9,550億円、対前年同月比6.6%減と、12ヶ月連続でマイナスとなった。これは、①韓国・台湾向けを除いた5地域向けで伸び率がマイナスとなったこと、②自動車、電子デバイス、軽電気機械等主要な21輸出業種のほとんどがマイナスとなったことなどによる。為替・営業日要因が4.3%の減少寄与要因だったことを考慮すると、実質的な伸び率は2.4%減と2ヶ月連続でマイナスとなった。平成28年10月の為替・営業日要因は12.9%の減少寄与要因となっているが、11月9日発表の貿易統計速報によれば10月上中旬の全商品輸出は7.6%減であった。

1. 全商品貿易動向～輸出は12ヶ月連続、輸入は21ヶ月連続でマイナス～

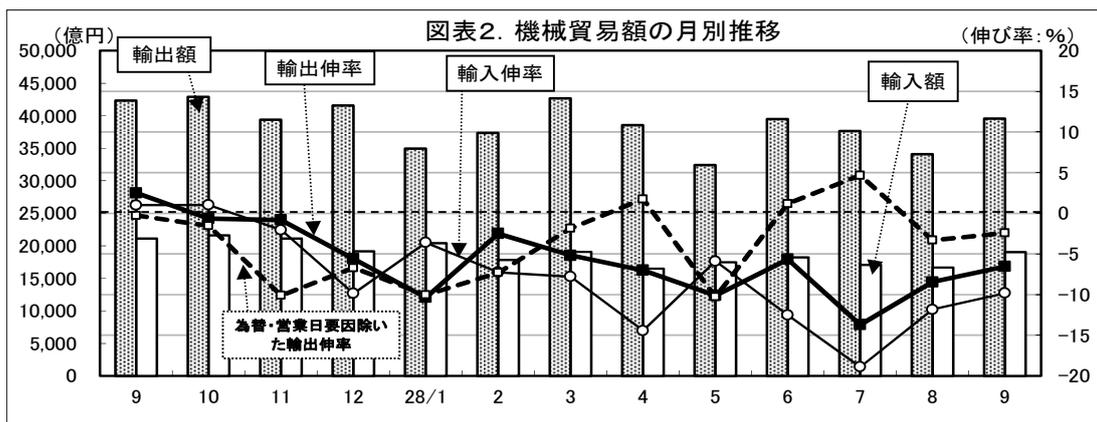
- 平成28年9月の全商品輸出額は**5兆9,686億円**、前年同月比(以下同じ)**6.9%減**と12ヶ月連続でマイナスとなった(8月9.6%減)。これは、全輸出額の約11%を占める鉄鋼・非鉄金属等原料別製品(13.3%減)、26%の輸送用機器(6.0%減)、18%の電気機器(9.9%減)等が大きくマイナスとなったためである。
- 輸入額は**5兆4,710億円**、**16.3%減**と21ヶ月連続でマイナスとなった(8月17.2%減)。これは、全輸入額の約17%を占める原粗油等鉱物性燃料(33.6%減)が原油価格下落等で大幅に減少したことに加え、18%を占める電気機器(11.0%減)、原料別製品(13.6%減)、一般機械(12.0%減)等が大きく減少したことによる。
- この結果、輸出額から輸入額を差し引いた貿易収支は、4,976億円の黒字となった。(8月は192億円の赤字)。



2. 機械貿易動向

(1) 機械輸出入動向～輸出は12ヶ月連続でマイナス～

- 全商品輸出額の約66%を占める9月の機械輸出額は**3兆9,550億円**、**6.6%減**と12ヶ月連続でマイナスとなり(8月8.4%減)、その水準は、リーマンショック前(2008年8月)と比べると**78.8%**となって、前月に比べて3.2ポイント改善した(8月75.6%)。なお、為替・営業日要因を除いた**実質的な伸び率は2.4%減**であった。
- 一方、全商品輸入額の約35%を占める機械輸入額は、**1兆9,028億円**、**9.9%減**と11か月連続でマイナスとなった(8月11.8%減)。ただし、リーマンショック前(2007年9月)の水準に比べ、23.6%増となっている。

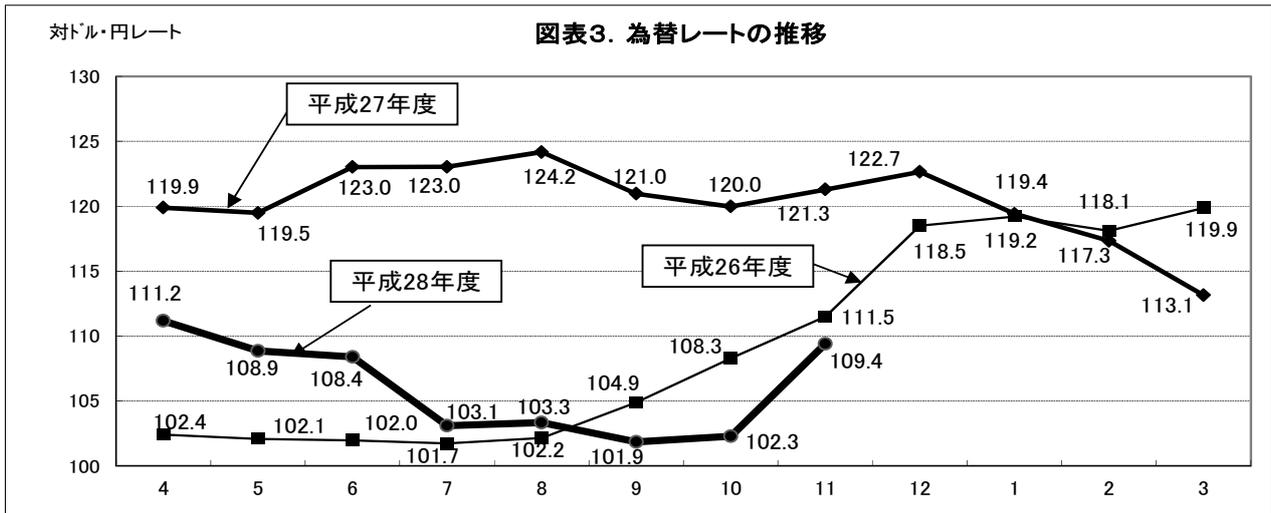


(2) 為替・営業日動向～9月は4.3%の減少要因、10月は約12.9%の減少要因～

1) 9月は1ドル=101.9円となり、前年に比べ15.8%の円高となった。また、対ユーロは114.6円と前年に対して15.9%の円高となり、合わせて約9.1%の為替減少要因となった。営業日は前年より1日多いため、5.3%の増加要因となり、合計で約4.3%の減少要因となる。9月の輸出額は6.6%減であったことから、実質的伸び率は2.4%減と2ヶ月連続でマイナスとなった(8月3.3%減)。

2) 10月は1ドル=102.3円で前年比14.7%の円高、対ユーロでは114.6円で前年比15.9%の円高となり、合わせて約8.5%の為替減少要因となった。営業日は前年より1日少ないため、4.8%の減少要因となり、合計で約12.9%の減少要因となる。

3) 11月は、対ドルが11月16日17:00時点の109.4円とすれば、前年に比べて9.8%の円高、また、対ユーロは117.1円で12.1%の円高となり、合わせると約5.8%の為替減少要因となる。営業日は前年より1日多いため、5.3%の増加要因となり、合計で約0.8%の減少要因となる。



(3) 地域別動向～韓国・台湾向けを除き、5地域向けで伸び率がマイナス～

1) 機械輸出額の地域的動きをみると、①全体の25.2%を占める最大輸出先の北米向けでは、全体の54%を占める自動車(3.8%減)をはじめ、重電気機械(13.2%減)や航空機部品(15.1%減)等が減少して7.6%減となった。②19.8%を占める中国向けでは、電子デバイス(15.7%減)、光学機械(15.1%減)、軽電気機械(15.2%減)等が大きくマイナスとなって12.8%減となり、③14.6%のASEAN・南アジア向けは、シンガポール(26.7%減)、タイ(10.0%減)等が二桁のマイナスとなり、業種では、船舶(86.5%減)が大きく減少したことをはじめ、全体の26%を占める自動車(7.8%減)、重電気機械(8.7%減)、等がマイナスとなって8.3%減となった。④12.0%を占めるEU向けは、38%を占める自動車(5.2%増)がプラスとなったものの、産業機械(8.1%減)、理化学用機器等軽機械(4.1%減)等がマイナスとなって、3.3%減となり、⑤10.7%を占める韓国・台湾向けは18%を占める電子デバイス(9.5%減)等がマイナスとなったものの、半導体製造装置等産業機械(27.8%増)、自動車(19.1%増)が増加して8.6%増となった。⑥17.7%のその他地域向けでは、中南米(1.5%増)向けがプラスとなったものの、アフリカ(14.0%減)、大洋州(12.9%減)、中近東(11.3%減)向け等が二桁のマイナスとなり、機種では、船舶(45.3%増)がプラスとなったものの、60%を占める自動車(12.0%減)等がマイナスとなって6.2%減となった。

2) また、リーマンショック前の2007年9月の地域別輸出額と比較すると、ASEAN・南アジア、韓国・台湾向けが90%台、中国向けが80%台、北米、その他地域向けが70%台、EU向けが50%台となった。

図表4. 最近の地域別機械輸出動向

(単位: 億円)

	2016/7			2016/8			2016/9			対07年9月比
	金額	伸び率	シェア	金額	伸び率	シェア	金額	伸び率	シェア	
全世界計	37,642	▲ 13.7	100.0	34,100	▲ 8.4	100.0	39,550	▲ 6.6	100.0	0.79
北米	9,831	▲ 12.4	26.1	8,042	▲ 13.5	23.6	9,985	▲ 7.6	25.2	0.79
中国	7,907	▲ 13.2	21.0	7,393	▲ 9.3	21.7	7,813	▲ 12.8	19.8	0.87
ASEAN・南アジア	5,664	▲ 10.3	15.0	5,298	▲ 7.7	15.5	5,784	▲ 8.3	14.6	0.93
EU	4,573	▲ 10.1	12.1	4,064	▲ 0.9	11.9	4,732	▲ 3.3	12.0	0.58
韓国・台湾	3,847	▲ 8.2	10.2	3,829	3.1	11.2	4,244	8.6	10.7	0.90
その他	5,821	▲ 24.3	15.5	5,474	▲ 12.1	16.1	6,992	▲ 6.2	17.7	0.74

は、2ヶ月連続で前年比10%以上プラス。

図表5. 韓国・台湾/ASEAN・南アジア/その他地域向け機械輸出の推移(月別)

(金額単位:億円、%)

国名	2016/6		2016/7		2016/8		2016/9	
	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率
韓国	1,773	▲ 14.2	1,919	▲ 4.2	1,850	7.4	2,086	9.3
台湾	2,063	▲ 7.1	1,929	▲ 11.9	1,979	▲ 0.7	2,158	7.9
ASEAN・南アジア								
タイ	1,492	▲ 7.1	1,455	▲ 18.0	1,367	▲ 8.5	1,532	▲ 10.0
シンガポール	1,072	▲ 0.1	870	▲ 1.8	874	▲ 4.7	795	▲ 26.7
インドネシア	513	▲ 18.9	627	▲ 10.6	573	▲ 14.5	661	▲ 0.2
マレーシア	627	▲ 14.4	654	▲ 15.8	553	▲ 17.6	635	▲ 4.5
フィリピン	650	▲ 1.3	652	5.1	625	9.4	645	▲ 0.8
ベトナム	733	9.4	629	▲ 6.8	576	▲ 8.8	628	▲ 3.6
インド	451	11.1	418	▲ 0.5	421	13.9	484	21.6
パキスタン	137	8.8	124	▲ 9.4	127	▲ 3.5	156	15.9
その他地域								
中南米	2,467	20.5	1,548	▲ 35.2	1,609	▲ 18.3	2,346	1.5
中近東	1,792	▲ 18.1	1,471	▲ 32.3	1,574	▲ 13.5	2,066	▲ 11.3
大洋州	1,264	▲ 1.4	1,298	▲ 21.1	1,021	▲ 10.2	1,098	▲ 12.9
ロシア東欧等	1,070	36.8	1,003	18.7	820	21.5	945	▲ 1.0
アフリカ	469	▲ 29.8	521	▲ 20.0	465	▲ 21.4	525	▲ 14.0

は、2ヶ月連続で前年同月比プラス(10%以上)

(4)業種別動向～21業種中3業種がプラス。二桁減は8業種～

1)業種別では、21業種中3業種がプラスとなり、3ヶ月ぶりにプラスの業種が出た(7月、8月は上位21業種がすべてマイナス)。プラスとなったのは全体の約17%を占める産業機械(3.2%増)、繊維機会(5.7%増)、鉄道車両(6.6%増)の3業種であったが、37%を占める自動車(5.4%減)、8%の電子デバイス(11.8%減)はじめ、他の18業種がマイナスとなり、そのうち二桁減の業種も8業種にのぼった。この結果、機械全体で6.6%減となった。

2)リーマンショック前の水準を超えたのは航空機部品、鉄道車両、軽機械、ベアリングの4業種のみであり(8月も4業種)、他方、民生用電子機械、電子計算機が30%台、産業車両が40%台の低い水準にある。

図表6 上位21業種の輸出額の動き

(単位:億円、%)

業種名	2016/7			業種名	2016/8			業種名	2016/9			対07/9比
	金額	伸び率	シェア		金額	伸び率	シェア		金額	伸び率	シェア	
自動車	13,820	▲ 11.2	36.7	自動車	11,534	▲ 7.0	33.8	自動車	14,608	▲ 5.4	36.9	0.86
産業機械	6,885	▲ 5.8	18.3	産業機械	6,395	▲ 2.3	18.8	産業機械	6,669	3.2	16.9	0.88
電子デバイス	3,010	▲ 11.5	8.0	電子デバイス	2,948	▲ 12.3	8.6	電子デバイス	3,156	▲ 11.8	8.0	0.67
軽電気機械	1,998	▲ 11.5	5.3	軽電気機械	1,861	▲ 7.3	5.5	軽電気機械	2,063	▲ 6.9	5.2	0.77
重電気機械	1,842	▲ 12.3	4.9	重電気機械	1,682	▲ 9.5	4.9	重電気機械	1,876	▲ 3.1	4.7	0.86
軽機械	1,546	▲ 10.8	4.1	軽機械	1,415	▲ 7.3	4.1	軽機械	1,561	▲ 6.5	3.9	1.09
民生用電子機械	1,371	▲ 22.2	3.6	民生用電子機械	1,336	▲ 11.8	3.9	民生用電子機械	1,415	▲ 16.4	3.6	0.36
光学機械	1,044	▲ 23.9	2.8	光学機械	1,084	▲ 17.3	3.2	船舶	1,415	▲ 7.6	3.6	0.80
船舶	952	▲ 45.8	2.5	船舶	988	▲ 10.6	2.9	光学機械	1,279	▲ 10.6	3.2	0.97
建設機械	840	▲ 11.0	2.2	建設機械	771	▲ 6.5	2.3	建設機械	903	▲ 5.0	2.3	0.68
工作機械	702	▲ 27.1	1.9	航空機部品	626	▲ 12.1	1.8	航空機部品	700	▲ 8.8	1.8	1.85
航空機部品	667	▲ 21.7	1.8	工作機械	550	▲ 26.6	1.6	工作機械	643	▲ 17.5	1.6	0.72
通信機械	442	▲ 24.4	1.2	通信機械	536	▲ 8.5	1.6	通信機械	617	▲ 29.5	1.6	0.59
電子計算機	406	▲ 12.4	1.1	電子計算機	391	▲ 12.9	1.1	電子計算機	459	▲ 6.5	1.2	0.37
医療機械	401	▲ 10.4	1.1	医療機械	387	▲ 5.4	1.1	医療機械	450	▲ 15.0	1.1	0.95
ベアリング	372	▲ 17.1	1.0	ベアリング	319	▲ 14.7	0.9	ベアリング	368	▲ 5.6	0.9	1.08
陸用内燃機関	331	▲ 15.8	0.9	陸用内燃機関	295	▲ 10.3	0.9	陸用内燃機関	339	▲ 6.3	0.9	0.88
繊維機械	177	▲ 6.0	0.5	繊維機械	149	▲ 15.0	0.4	繊維機械	176	5.7	0.4	0.74
農業機械	143	▲ 29.0	0.4	農業機械	133	▲ 36.0	0.4	農業機械	151	▲ 35.6	0.4	0.72
産業車両	106	▲ 19.1	0.3	産業車両	98	▲ 10.6	0.3	鉄道車両	118	6.6	0.3	1.21
鉄道車両	92	▲ 19.2	0.2	鉄道車両	90	▲ 21.3	0.3	産業車両	100	▲ 28.7	0.3	0.47
21業種合計	37,146		98.7	21業種合計	33,588		98.5	21業種合計	38,964		98.5	0.79

は2ヶ月以上連続で10%以上増加。・産業機械:半導体製造装置、印刷・製本機械、風水力機械、タービン
 ・民生用電子機械:デジカメ、TV、部品 ・電子計算機:パソコン、HDD・プリンター等部品 ・軽機械:試験・検査機、理化学用機器
 ・軽電気機械:白物家電、電子計測器、配電機器、電池 ・光学機械:その他の光学機器(半導体検査装置、レーザー等)、カメラ部品
 ・通信機械:通信機械部分品、受信変換・その他送受信

(5)機種別動向～韓国・台湾向け半導体製造装置が大幅増、通信機械部分品等が大幅減～

- 1)10%以上の伸び率を示した機種は2機種(前月と同じ)で、①韓国向けが大きく伸びた半導体製造装置(29.7%増)、②北米、中国、EU向け電動機(10.0%増)であった。
- 2)一方、通信機械部分品(42.8%減)、磁気カード・ディスク等(40.8%減)をはじめ、マイナス伸び率上位10機種すべてが20%以上の大幅な減少であった。

図表7. 伸び率上位機種(月50億円以上、前年比伸び率10%以上、10機種以内) (単位:億円、%)

2016/7			2016/8			2016/9		
機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率
半導体製造装置	1,743	25.3	半導体製造装置	1,732	29.7	半導体製造装置	1,679	29.7
機種合計	1,743	* 4.6%	通信機械部分品	275	10.3	電動機	142	10.0
			機種合計	2,007	* 5.9%	機種合計	1,821	* 4.6%

は、2ヶ月連続で上位機種 * 機種合計の%は輸出額に占める割合
 通信機械部分品:ゲートウェイ、ルーター等 受信変換・その他送受信:ルーター、LANスイッチ等ネットワーク関連機器
 理化学用機器:物理・化学分析用機器の部品、電気式分析機器等 電動機:業務用モーター
 その他の光学機器:レーザー、半導体検査装置等 その他の重電機機器・部分品:重電機器部分品、交通管制用機器

図表8. マイナス伸び率上位機種(月10億円以上、10%減以上、10機種以内) (単位:億円、%)

2016/7			2016/8			2016/9		
機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率
船舶	952	▲ 45.8	発電機	54	▲ 43.5	通信機械部分品	289	▲ 42.8
デジカメ・ビデオ	300	▲ 35.4	受信変換その他送受信機器	104	▲ 37.4	磁気カード・ディスク等	119	▲ 40.8
通信機械部分品	168	▲ 33.2	農業機械	133	▲ 36.0	農業機械	151	▲ 35.6
原動力機械	331	▲ 31.2	磁気カード・ディスク等	122	▲ 35.4	産業車両	100	▲ 28.7
農業機械	143	▲ 29.0	TV	84	▲ 28.2	写真機の部分品・附属品	111	▲ 25.6
受信変換その他送受信機器	119	▲ 27.6	貨物自動車	617	▲ 27.6	発電機	88	▲ 25.3
磁気カード・ディスク等	137	▲ 27.3	工作機械	550	▲ 26.6	時計	83	▲ 25.1
工作機械	702	▲ 27.1	印刷・製本機械	740	▲ 25.2	TV	96	▲ 22.9
写真機の部分品・附属品	108	▲ 25.9	写真機の部分品・附属品	99	▲ 23.6	貨物自動車	774	▲ 21.1
その他の光学機器	865	▲ 24.8	鉄道車輛	90	▲ 21.3	受信変換その他送受信機器	143	▲ 20.2
機種合計	3,825	* 10.2%	機種合計	2,593	* 7.6%	機種合計	1,954	* 4.9%

は、2ヶ月連続でマイナス上位10位内 * 機種合計の%は輸出額に占める割合

(6)機械輸入動向～電子デバイス、電子計算機等が大きく減少～

- 1)9月の機械輸入伸び率は9.9%減と11ヶ月連続のマイナスとなった。電子デバイス(16.1%減)、電子計算機(20.4%減)をはじめ、上位12機種のうち11機種がマイナスとなった(7月、8月も11機種がマイナス)。プラスとなったのは、航空機・部品等(60.6%増)のみであった。
- 2)なお、輸入額が輸出額を上回っている機種は金額順に携帯電話、電子計算機、航空機・部品等、医療機械、白物家電、受信変換・その他送受信機器、時計、TVの8機種となっている。
- 3)地域別機械輸入額は、全体の43%を占める中国(14.0%減)、北米(8.3%増)、ASEAN・南アジア(13.7%減)、EU(0.1%減)、韓国・台湾(16.2%減)、その他地域(13.1%減)の順であった。

図表9. 機械輸入額上位12機種

(単位:億円、%)

2016/7				2016/8				2016/9			
機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア
電子デバイス	2,020	▲ 23.1	11.8	電子デバイス	2,001	▲ 13.2	12.0	携帯電話	2,571	▲ 3.3	13.5
電子計算機	1,506	▲ 23.5	8.8	電子計算機	1,420	▲ 24.7	8.5	電子デバイス	2,148	▲ 16.1	11.3
航空機・部品等	1,124	▲ 6.6	6.6	自動車部品	1,021	▲ 1.4	6.1	電子計算機	1,561	▲ 20.4	8.2
乗用車	1,013	20.6	5.9	航空機・部品等	997	▲ 10.2	6.0	自動車部品	1,108	▲ 11.4	5.8
自動車部品	994	▲ 16.0	5.8	乗用車	984	▲ 8.2	5.9	航空機・部品等	1,057	60.6	5.6
携帯電話	937	▲ 22.8	5.5	携帯電話	683	▲ 18.3	4.1	乗用車	941	▲ 3.0	4.9
白物家電	714	▲ 11.2	4.2	医療機械	637	2.7	3.8	医療機械	635	▲ 0.6	3.3
医療機械	581	▲ 10.2	3.4	白物家電	622	▲ 0.1	3.7	白物家電	521	▲ 23.6	2.7
配電機器	457	▲ 21.4	2.7	配電機器	504	▲ 4.4	3.0	配電機器	485	▲ 13.8	2.5
受信変換その他送受信	435	▲ 26.4	2.6	受信変換その他送受信	483	▲ 6.9	2.9	受信変換その他送受信	468	▲ 9.6	2.5
その他の配電制御装置	351	▲ 14.8	2.1	その他の配電制御装置	386	▲ 3.7	2.3	その他の配電制御装置	377	▲ 16.2	2.0
コンデンサー等部分品	311	▲ 21.4	1.8	コンデンサー等部分品	332	▲ 11.6	2.0	コンデンサー等部分品	337	▲ 16.9	1.8
12機種合計	10,443		61.2	12機種合計	10,070		60.4	12機種合計	12,209		64.2

は対前年比が2ヶ月連続で10%以上増加。・白物家電:民生用電気機械
 ・受信変換その他送受信:ネットワーク関連機器 ・その他の配電制御装置:スイッチ、配電盤、制御盤等